

名前: _____ 日付: _____

1. 「()の上にも三年」とは、つらいことでもがまんして続ければよい結果が出るという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

2. 「()に説法」とは、その道を知り尽くした人に対して、教えを説くおろかさのたとえです。()に入る言葉を書きましょう。 _____

3. 「()の道も一歩から」とは、大きな目標も小さな努力の積み重ねから始まるという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

4. 「()の遠回り」とは、近道よりも回り道をしたほうが結局得をするという意味です。「急がば()」の()に入る言葉を書きましょう。 _____

5. 「()も実るほど頭を垂れる」とは、立派な人ほど謙虚であるという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

6. 「()の威を借る狐」とは、強い者の力を借りていばる人のたとえです。()に入る言葉を書きましょう。 _____

7. 「()も三度」とは、何度も繰り返されると、おだやかな人でも怒るという意味です。「仏の顔も()」の()に入る言葉を書きましょう。 _____

8. 「()の耳に念仏」とは、いくら言っても効き目がないという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

9. 「()に小判」とは、価値のあるものを与えても、その価値が分からない人には意味がないというたとえです。()に入る言葉を書きましょう。 _____

10. 「()あれば水心」とは、相手が好意を示せば自分も好意を返すという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

11. 「()は身を助ける」とは、身につけた技能がいつか自分の役に立つという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

12. 「とらぬ()の皮算用」とは、まだ手に入っていないものをあてにして計画を立てることのたとえです。()に入る言葉を書きましょう。 _____

13. 「()に短し帯に長し」とは、ちょうどよい程度になっていなくて、役に立たないことのたとえです。()に入る言葉を書きましょう。 _____

14. 「()の三角はそろう」のような言い方ではなく、「弘法も()の誤り」と書きます。すぐれた人でも時には失敗するという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

15. 「()は一生の恥」とは、知らないことを恥ずかしがらず人に聞いたほうがよいという意味です。「聞くは一時の恥、()」の()に入る言葉を書きましょう。 _____

16. 「()の中に針」とは、優しそうな言葉の中に悪意がひそんでいることのたとえです。()に入る言葉を書きましょう。 _____

17. 「()の渡りも渡りきれば近道」のもとになる「()も叩いて渡れ」とは、危険がなさそうでも用心するべきという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

18. 「()も小判」ではなく「ぶたに()」とは、価値の分からない者に貴重なものを与えても無意味だという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

19. 「()は急げ」とは、よいと思ったことはすぐに実行するべきだという意味です。()に入る言葉を書きましょう。 _____

20. 「()の交わり」とは、たがいに利益を考えず、心から信頼し合う友情のことです。()に入る言葉を書きましょう。 _____

()に当てはまる言葉を書きましょう。

6年生 国語 ことわざ 解答

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 石 | 2. 釈迦 |
| 3. 千里 | 4. 回れ |
| 5. 稲穂 | 6. とら |
| 7. 三度 | 8. 馬 |
| 9. ねこ | 10. 魚心 |
| 11. 芸 | 12. たぬき |
| 13. ひもの | 14. 筆 |
| 15. 聞かぬは一生の恥 | 16. 綿 |
| 17. 石橋 | 18. 真珠 |
| 19. 善 | 20. 金 |